

2月4日立春の日、冷え込みの厳しい朝。街中を走る早朝ランナーの息は白く、屋根の上にもうっすらと白い雪が見られました。

先週末で終了した「片岡鶴太郎展 夜桜」は、期間中の観覧者数33,724人という過去最多の人数を記録しました。2月は「くらしのうつりかわり展」で子どもたちの歓声に戻ってきます。

1. くらしのうつりかわり展 昭和 あのころのねだん

明石市内の方から寄贈された3冊の家計簿(昭和18年、30年、34年)をもとに、ねだんのうつりかわりを追いかけてみます。昭和18年は戦争がしだいに激しくなり、物不足の時代です。その頃、買うことができたものとその値段が書かれています。終戦から10年が経過した昭和30年は、電気冷蔵庫・洗濯機・掃除機(のちテレビ)が“三種の神器”と呼ばれ始めました。昭和34年になると、週刊のまんが本が創刊され、自動車も普及し、マイカー時代が幕を開けました。

日々のくらしの中で買い物をした記録が家計簿の中に記されています。食料品や衣類など、当時のくらしぶりを知ることができる貴重な資料です。また、春には“いかなご”、夏には“氷”、秋には“松茸”というふうにより季節によって買い物の内容が変わってくるのも興味深いものです。

戦中・戦後から昭和30年代に暮らしたおじいちゃん、おばあちゃん、そしてお父さん、おかあさんたちの姿を探してみませんか。

開催期間：2月4日(土)～3月19日(日)



戦中・戦後のコーナー



昭和30年代の家電製品



ロビーには洗濯機や氷冷蔵庫も



路地裏の板塀にはすずめが



ちゃぶ台のある茶の間を再現

2. 博物館ボランティアといっしょにワークショップを楽しもう

- 2月 5日(日)13:00～15:00「石におひなさまを描こう」
- 2月11日(土)13:00～15:00「お手玉作り」(裁縫道具が必要です)
- 2月12日(日)11:00～15:00「コースター作り」(製作時間10分程度)
- 2月19日(日)13:00～15:00「すりこぎとんぼと割りばし鉄砲作り」
- 3月 4日(土)11:00～15:00「コースター作り」(製作時間10分程度)
- 3月 5日(日)10:00～15:00「布ぞうり作り」
(古布・裁縫道具・昼食が必要です)
- 3月11日(土)13:00～15:00「石臼をまわそう」
(大豆からきなこを作ります)

定員 各20名

(「コースター作り」は40名)

参加費 各200円

(「コースター作り」は100円)

別途観覧料が必要です

(小中学生はのびのびパスポート
が利用できます)

お申込み

当日、当館にてお申込みください

3. おっちゃんの紙芝居

「その時であります」「待ってました！」のかけ声とともに、今年も「おっちゃんの紙芝居」が登場します。平日は学校団体向けの上演が中心で、期間中の土日にも上演があります。みなさん一緒に紙芝居「黄金バット」と「クイズ」で楽しいひと時をすごしましょう。

平日、上演のない日もあります。



昨年の様子



阿部さんの熱演、「黄金バット」続編も登場

開催日 2月18日(土)、26日(日)、3月5日(日)、18日(土)

時間 各日 1回目 11:00～、2回目 14:00～

博物館観覧料が必要です。(小中学生のみなさんはのびのびパスポートが利用できます)

4. 明石市小中養護学校書初展

2月3日の午後から「平成17年度明石市小中養護学校書初展」が博物館2階ギャラリーで始まりました。各学校から選りすぐりの作品がずらりと並んでいます。4日は朝早くからたくさんの家族連れが来館されました。明日、5日(日)まで。



作品の前ではいポーズ

我が子の作品を見たお父さんは、「なかなか上手いなあ」と満足げな様子で子どもの作品をカメラに収めていました。